

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産(リース資産を除く)・・・定率法(但し、建物は定額法)
- (3) 消費税等の会計処理  
税込経理方式による

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物(基)	96,709,752	0	2,116,164	94,593,588
構築物(基)	685,066	0	85,891	599,175
小計	97,394,818	0	2,202,055	95,192,763
特定資産				
美術品(特)	101,380,000	0	0	101,380,000
小計	101,380,000	0	0	101,380,000
合計	198,774,818	0	2,202,055	196,572,763

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物(基)	94,593,588	0	0	—
構築物(基)	599,175	0	0	—
小計	95,192,763	0	0	—
特定資産				
美術品(特)	101,380,000	0	0	0
小計	101,380,000	0	0	0
合計	196,572,763	0	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物			
本館・別館	105,359,684	10,766,096	94,593,588
建物附属設備	2,573,650	1,074,178	1,499,472
構築物	1,721,925	645,750	1,076,175
什器備品	1,190,800	1,109,064	81,736
合計	110,846,059	13,595,088	97,250,971

5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

- (1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末	当期末
現金預金勘定 2,668,085円	現金預金勘定 4,090,609円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 円
公社債投資信託等振替額 円	公社債投資信託等振替額 円
現金及び現金同等物 2,668,085円	現金及び現金同等物 4,090,609円

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	建物(基)	96,709,752	0	2,116,164	94,593,588
	構築物(基)	685,066	0	85,891	599,175
	基本財産計	97,394,818	0	2,202,055	95,192,763
特定資産	美術品(特)	101,380,000	0	0	101,380,000
	特定資産計	101,380,000	0	0	101,380,000
その他固定資産	建物	1,795,053	0	295,581	1,499,472
	什器備品	169,857	0	88,121	81,736
	構築物	0	540,000	63,000	477,000
	その他固定資産計	1,964,910	540,000	446,702	2,058,208